

第6回「防潮堤を勉強する会」要旨

日時：2012年8月29日（金）18時から20時 場所 魚市場3階会議室

1. 講演「防潮堤の法的制度・功罪のまとめと各地区及び気仙沼市の選択肢の可能性」

講師：関西学院大学総合政策学部 長峯 純一 様

- ・法制度では行政が住民の意見を聴く場を設けることが規定されている。有効に法律を使うべき。
- ・防潮堤の建設において便益と機会費用が伴う。その内容や価値の大きさは一人一人異なるもの。住民たちで意見交換と合意形成の努力をする必要がある
- ・県の提案に見直しを図るためには地域の合意形成が重要で、合意を市に伝え意思表示することが必要。

2. 支援できる専門家の紹介

①地区の合意形成への支援

首都大学東京 都市基盤環境コース 横山勝英 先生

専門でシミュレーションもする。地元NPO法人やいろんな大学と協力して支援に入っている。

関西学院大学 総合政策学部 長峯純一 先生

浸水マップを作り、復元模型を作るプロジェクトをしているチームと協働。大島なら事前に調査しているので入りやすい。

工学院大学 建築学部まちづくり学科 倉田直道 先生

実践的にまちづくりのお手伝いで私たちとしてもぜひ力になりたいと思っている。

早稲田大学 都市・地域研究所 客員主任研究員 阿部俊彦 先生

新たな地区を支援していきたいというよりは、私の仲間のネットワークもあるので、相談していただければご紹介させていただくという形になる。

②特殊技術での支援

オートデスク(株)テクニカルスペシャリスト本部インダストリーエキスパート 井上修 様

パソコンのソフトウェアを開発している。図面データを用い、まちの3D図面を簡単に作図、シミュレーションすることができる。

㈱国土再生研究所 代表取締役 栗原光二 先生

フォレストベンチ工法の専門家。破堤しない堤防が一番尊い堤防であり、フォレストベンチは今回の津波でも破堤しなかった。

㈱ユニークアーバニスツ 代表取締役 呉武仁 様

CG技術を活用して土地や建築の3次元可視化、見える化を行っている。

③市全体での相談等での支援

日本大学 岡田教授、早稲田大学 佐々木教授、(特非)NPO 研修情報センター 世古氏、東北大学 平野教授、(公財)ひょうご震災記念21世紀研究機構 紅谷昇平様

<次回 第7回「防潮堤を勉強する会」> 9月3日（月）18時～ ワンテン大ホール